

地域活動充実支援事業

(手柄地区)

No. 5 2020.6

手柄地区において、行政と地域がともに考え行動していく地域活動充実支援事業についてお知らせします。

地域活動充実支援事業（手柄地区）ミーティング

会議概要

日時	場所
令和2年6月27日（土） 13:30～15:00	姫路市立手柄公民館 会議室

出席者（順不同）
自治会長、地域団体関係者など 約20名

議題
(1)
議事内容/結果
<p>1 開会</p> <p>会長挨拶</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月から5月は、新型コロナウイルス感染症の影響で公民館が使用できず、中止の連続だった。 ・今日のテーマは運営準備会の設置と事業計画案である。組織の案等を見て、意見をいただきたい。 ・手柄地区が元気一杯の地区になってもらいたいのは、みんな同じだと思うのでよろしくお願いいたします。 <p>自己紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議の出席者の自己紹介
<p>2 令和2年度地域活動充実支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度地域活動充実支援事業の説明（会長） <p>令和2年度地域活動充実支援事業提案書に従い、令和元年度からの地域活動充実支援事業の実施状況について説明。</p> <p>事業計画については、新型コロナウイルス感染症の影響により3ヶ月程度遅れていると考えていただければ。</p>
<p>3 運営準備会の設置及び事業計画案について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動充実支援事業について、説明（市） <p>地域組織づくり、今後の事業、手柄公民館のさらなる活用について、考えていただきたいと考えている。市としても意見も参考に支援方策を検討したい。</p> <p>手柄地区まちづくり運営準備会は、これからの地域活動組織づくりのため、今日のような協議をする場のことである。</p>

地域組織づくり、今後の事業について叩き台となるように、組織の規約や事業について、あくまで例として資料を提示しているが、これらの内容について、意見、こうしたら良いのではとの話ができればと考えている。来月、アンケートの深読み会等を予定しているとのことなので、その時には、もう少し詰めた形で規約案等を提示できればと考えている。

質疑、意見等

- ・進め方について、計画の遅れは具体的にどう下げるのか？
→企画提案書からは1ヶ月遅れ、7月以降、どのような事業をするか、事業毎の部会のリーダーを決めて活動を進めたい。
- ・毎月1回、会議を開いては（組織が）始まってしまうようだが、各種団体も来られてない中で、性急に始めず、じっくり来年から始めたらどうか。
- ・何を言っているのか分からない。部会は始まっているのか、会議をやらないと始まらないような話したが、各部会でやっていくなど、する方法はいくらでもあると思う。企画提案書の課題はどのように決めたのか。
→過去4回の会議の内容を踏まえてまとめたもの。
- ・地域コミュニティを作りたいとのことだが、今しようとしているのが何をしようとしているのかわからない。地域の人が公民館に集まってボランティアでそれぞれのことをやっていこうとの趣旨だと思っていたが、組織を作って何をしようとしているのか聞きたい。
- 市)すでに、様々なコミュニティ活動をしていただいているが、団体間の横の情報交換を見えるようにしつつ、連合自治会さんとも合わせて横串で共有し一体感をもって活動してもらいたいと考えている。また、資料の中の（仮称）手柄地区まちづくりサポーターといった方たちが、役員ではないけれども何かあった時は手伝いますよといった方々が増えていけば。まずはゆるやかに出来るところから始めていけばと考えている。
- ・他の地域でも公民館を中心にボランティア活動をしているが、手柄地区でも同じようなことがしたいのだと考えていた。それと組織づくりもするとのことなので、両方やっているように思う。
→市)基本的には両方進めてもらいたいと考えている。
- ・そのあたりをじっくり話し合っ進めてもらいたい。
- ・亀山で30年前からコミュニティ活動していた。色々意見がでていたが、今は手柄地区9町で同じような活動ができていないので、手柄校区全体で同じような活動ができるようにしていければと思う。
- ・老人会、婦人会はなくなってしまっていて、町の規模に応じない校区の活動に人が出せないと、なくなってしまう。時代は変わっている。時代に応じた活動を考えないと難しい。もう少し練って考えたほうがよいと思う。
- ・（婦人会の活動について、亀山の事例等紹介）。自分が世話をするのが嫌だという風潮もあるが、新しい活動も出てきているので、災害などが起きた時など助け合える環境にできれば。
- ・理想はわかるが現実には難しい。ゆっくり考え、議論しないとバラバラになってしまう。
→ご意見をお聞きし、地域の中で協議し、計画はあるが見直しをしながら進めてもらいたい。

- ・組織は団体があるから進めていけばできると思う。町でも同じようにしている。祭りでも4、500人集まるが、実行委員会に任せてやっているが、3、4年かかるのでは。組織作りは地域の方の意見も聞いて、団体での話し合いができればと思う。
 - ・組織をまとめようという話しではない、若い人やパワーある人が公民館に集まって、地区連合自治会もバックアップして進めようとしているものだと考えているが、その進め方が悪い。根本的なことを詰めないと勘違いしてしまう。
 - ・やろうとしていることは良いが、手柄校区は各種団体が一堂に会して集まることがないのでそれが出来れば良いことだが、それぞれの団体が活動をしっかりと組織が成立している。コミュニティがバラバラだというわけではないので、組織の話は10年、20年後の話では。会長との話の中では、安全・安心協議会のような部分で自治会、子ども会、学校みんなで、危険な所の確認や、年1回、2回でも総会的なものではできればと考えているので、早急に進めている感覚はあり、まだ中身が何もなしの中なので、来年、再来年に向けて協議して進めていければと思う。
- 数多くのご意見、性急すぎるとの意見を受け取ったので、ゆっくりと進めさせていただきたいと考えている。一方、若い方、何か活動したい人をサポートできる、受け皿的なところが出来ればと思うので、いずれにしろゆっくり進めていければと思う。
- ・地域の声が聞ける意見、アンケートをしてはどうか。
 - ・QRコードを読んだら、名前とアドレスを入力して、連絡したり、意見を集計できるシステムを作っているのを活用していただけたら。若い方々も話をしていく場がないので、意見を集めて進めていければと思う。ボランティアでも手伝わせてもらう。そうやってコミュニティを拡げていければと思う。司会も地域の人がやって、ワークショップ的に進めることができればと思う。

参加者からの感想

- ・意見交換されて手柄地域がよくなっていく一歩目だと感じた。地域の教育施設として協力していければと考えている。
 - ・地域への様々な思いを持っているかたがたくさんいることが分かった。何をやっているか分からない方も多いので、どんどん発信していただければと思う。また、進んでいることが見えるようにしてもらいたい。
 - ・こんな感じになるかなとは思っていた。大上段に構えると空中分解するので、ゆっくりやろうとする結論となったのは良かったのでは、その中で小さなことでも一つでもやっていければと思う。
 - ・誰もが住みやすい町にしたいという思いは一緒なので、地域包括支援センターでも高齢者だけでなく、地域づくりなど様々なところで地域と関わっていければと思う。
 - ・先日、社協支部の総会を初めて開催していただいたが、福祉に関することであれば、また呼んでいただいたら参加していきたい。
 - ・手柄校区では、尚歯会、総おどり、手柄山歩こう会、一斉清掃などを広げていくとそういうことではいけないでしょうか。そういうことから広げていけば、入りやすいのではと感じた。
 - ・じっくり進めていくということなので、少しあてがはずれたかなという感じだ。
- 様々な話しを伺ったので、今日の会合を無駄にしないように進めていきたい。またご案内も含めてやっていきたい。

終了

次回 7月 アンケートの深読み会

担当